

平成 30 年度 研究計画書

Research Plan FY2018

講座名・職名 Course Title・Job Title	日本語・日本文化教育センター 准教授
氏名 Name	岩井 茂樹
専門分野 Academic Field	日本文化史

平成 30 年度 研究計画（ホームページで公開） Research Plan FY2018 (Post on Website)

主たる研究テーマ Principal Research Subject	視線と微笑の文化史				
<p>明治時代以前の日本絵画において、絵画の中に描かれた人物が絵画の外へ視線を向けることは、ほとんど皆無という状態であった。神仏的なものは別として、一般的な絵画に描かれた人物はみな一様に絵画の中に視線を注いでいたのである。ただし、例外もある。ある特定の分野の絵画には視線を画面の外に向けるものが存在する。本研究では、そうした絵画の持つ意味や機能について分析と考察を行う。</p> <p>同様に、明治以降になっても日本では、絵画や写真で微笑を見せることはほとんどなかった。明治以前も微笑しているものは存在するものの、それらは当手下賤な身分なものであった。また明治以降もある時期までは微笑することは下品な振る舞いとされ、忌避されてきたという経緯があることが明らかになってきた。そこで本研究では、いつごろ日本人が絵画や写真で微笑を見せるようになったのか、何が契機となって微笑を見せるようになったのか、といった点について分析と考察を行う。</p>					
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research *1	01050	01060	03010	03020	02010
キーワード Keywords*2	ビジュアル	美意識	イメージ	近代化	評価史